

立正佼成会^{いちじき}一食平和基金
宮城県復興支援事業

復興まちづくり協議会等
事務局ステップアップ助成

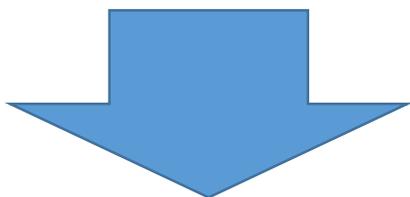
平成28年度募集要項

立正佼成会 一食平和基金
(一社)みやぎ連携復興センター

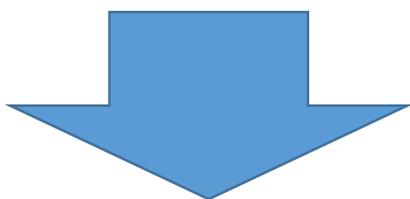
本助成の目的・趣旨

被災地のまちづくりは住民が担っている

震災前の地域の環境や被災状況など異なる中で、新たなまちの計画づくりのために住民が主体となってまちづくり協議会等を作り、勉強会、イベントの開催など多様な取組が展開されている。



その中でまちづくり協議会等の事務局を担う部分は、日々の活動の中で疲弊している。



事務局の機能強化に注力した助成を行うことで、

1. まちづくり協議会等の基盤強化を実現する。
2. 県内のネットワークを広げる機会とする。
3. まちづくり協議会等の事務局を担う存在の重要性を社会に広く認知させる。

本助成の目的

「これで事務局が長く続けられるようになった！」「事務局の環境がよくなったのでまちづくり活動にも弾みがついた！」



現在の事務局機能を
よりよい姿へ
ステップアップ！



「問題が山積みでどこから解決したらわからないよ～」「ひとりでは事務局なんてできないよ～」

調べたい

深めたい

伝えたい

巻き込みたい

学びたい

整えたい

繋げたい

7つのテーマから
最低2つを選択。

* 継続助成の場合は
巻き込み・繋げる必須。

学びたい

～新たな知識を**学び**スキルアップ

課題

- ★他地域の事例検討やまちづくりの
学びの機会をつくりたいが、予算がない。
- ★団体の経理、広報PC文書作成など
実務スキルが不足している。

整えたい

～機能を高めるために環境を**整える**

課題

- ★事務局機能強化、勉強会実施のための
備品が不足している。
- ★活動諸経費の自己負担が多く、
活動の制約となっている。

深めたい

～現在の思いや議論をさらに**深める**

課題

- ★住民の考えを活動に反映させたいが、
会議への参加が難しく、意見を募る場がない。
- ★地域資源や良さ、強みが住民同士では
なかなか見つけられない。

調べたい

～現状の姿を明確にするために

地域、住民意向について**調べる**

課題

- ★会議の頻度は多いものの、会員の思いの共有や
地域将来のことを深く考える時間が不足している。
- ★活動がマンネリ化しており、
議論や活動がなかなか進まない。

繋げたい

～自分たちの活動を次世代に繋げる～

課題

- ★事務局を引き継ぐ人材確保・育成をしたいが
そのための資金が不足している。

巻き込みたい

～活動に新たな人、住民を巻き込む～

課題

- ★地域住民の団体活動に対する理解が不足している。
- ★団体活動への参加者が減少している、
または少ないため、活性化のための手を打ちたい。

伝えたい

～まちづくり活動の参加意識向上のために

地域や外部に伝える

課題

- ★自分たちの現在の取り組みのPRが地域の人になかなか届いておらず、活動の幅が広がらない
- ★現在発行しているHPや広報誌をバージョンアップし、より効果的に情報を伝えたい

活用例

・先進地域

訪問視察

自分たちの活動や地域を客観視し深める。
他地区の良さを学ぶ

(使途) 会員交通費、宿泊費
研修先謝礼

・外部研修参加

PC、会計スキル、
を学ぶ。

(使途) 研修参加費、交通費

・役員合宿

役員・会員が
語り合い議論
を深める

(使途) 交通費、宿泊費、
講師謝金

・勉強会開催

専門家を招き、
知識を深める。
実践に繋げる。

(使途) 講師謝金、交通費

活用例

・HPの構築・ リニューアル

魅力を伝える。
活動を伝える。
様々な人を巻込む。

(使途) デザイン料、会議経費

・他地区団体との 意見交換

事例の共有により
課題解決のヒントを学
ぶ

(使途) 会員交通費・宿泊費
受け入れ団体への謝金

・住民への 聞き取り調査

住民の意見、
地域の良さを調べる

(使途) 資料印刷費、
聞き取り対象者への謝礼

・機器購入

団体の活動・広報のため
の体制を整える。

(使途) カメラ、プリンタ購入

注意！

対象外となる費用

● 事務局維持のための経費

- ・事務所家賃・税金・光熱水費
- ・HPドメイン・サーバ代
- ・携帯電話料金
- ・機器リース料
- ・事務局・会員の給与

など

● 当事業の目的にそぐわないもの

- ・イベント経費
- ・通常会議費（ステップアップを伴わない）
- ・他団体への助成・負担金
- ・懇親会費

など

注意！

27年度からの継続申請の場合、
審査には下記の点が評価ポイントとなります。

- ①「繋ぎたい」「巻込みたい」という
テーマ2つを取り入れた活動である
- ②27年度の活動を受けて、
どのようなステップアップを目指すのか
明確になっている

○応募要件

宮城県内で住民が主体となって活動する団体で復興まちづくりに関する活動を行っている以下の条件をすべて満たす団体

(法人格は問わない)

- ① 特定のエリア(行政区、学校区、事業区域 など)を活動対象としている
- ② ①の区域に居住、あるいは居住希望のある方で構成される団体である
- ③ 資金管理を行う事務局が決まっている。
- ④ 住民同士の話し合いを定期的に実施している(特に住民を交えた議決の機会が規約等に明記されていること)
- ⑤ 情報発信を行っている、もしくはこの事業で行うことを検討している
- ⑥ 説明会・報告交流会への参加、報告書作成が可能である

○助成金額

上限 50万円

* 審査によって申請額の減額もあるものとしてします。助成先決定の前に調整させていただきます。

○事業期間

平成28年4月1日～11月30日
(上記期間の領収書のみ有効)

○審査

①事務局による書類審査(一次)

②審査員による書類審査(二次)

○応募について

・提出書類:

- ①申請書(様式1)
 - ②役員名簿(任意様式)
 - ③規約や定款,もしくはそれに準ずる
組織運営の基準を定めた文書
(任意様式)
 - ④直近年度の財務書類
(前年度の事業報告書・決算書、
今年度の事業計画書・予算書)
 - ⑤チラシやパンフレットなど
活動内容が分かる文書・資料
(任意様式)
- * 様式は当センターHP(www.renpuku.org)
よりダウンロードしてください
(難しい場合はご相談ください)¹⁴

○応募について

・応募受付期間:

平成28年1月4日(月)~2月19日(金)

【消印有効】

・応募方法:

書類を、受付期間内に下記あてに
郵送にてお送りください。

・書類送付・問合せ先

〒980-0804

仙台市青葉区大町1-3-7 裕ビル6F
(一社)みやぎ連携復興センター

担当:佐藤、宮野

TEL:022-748-4550 FAX:022-748-4552

mail:oubo【at】renpuku.org(【at】を@に変えて送信)

○スケジュール

申請

1月4日(月)～2月19日(金)

書類受付期間

審査、決定

3月7日(月)～審査
～3月31日(木)決定

4月1日(金)～通知

4月1日(金)～11月30日(水)

助成対象期間

説明会

4月16日(土)

採択団体向け説明会

手続

4月～5月書類締結・助成金振込

モニタリング

モニタリング(訪問・取材)

取り組みの実施
4 / 1
11 / 30

報告書作成・提出

12月 報告書作成

12月16日(金)報告書〆切

事業報告

1月～2月 報告交流会

ご応募
おまちして
おります！！